

学校法人 神戸滋慶学園 神戸医療福祉専門学校三田校
2021年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録

議事録作成者：今在家 信司

1、開催日時：2021年6月26日（土）13：00～15：00

2、開催方法：ZOOM 開催

3、参加者：学校関係者評価委員

(氏 名)

正木健一 業界関係者（兵庫県理学療法士協会 理事）

田中加代子 近隣関係者

（特定非営利活動法人言語障害者の社会参加を支援する会しゃべろーよ
地域活動支援センター トークゆうゆう 所長）

川端雅生 業界関係者（一般社団法人日本義肢協会 近畿支部 支部長）

中村元樹 卒業生代表（医療法人社団 尚仁会 平島病院 理学療法士）

学校側参加者

澤村 誠志 神戸医療福祉専門学校三田校 校長

今在家 信司 神戸医療福祉専門学校三田校 事務局長

岡田 大地 神戸医療福祉専門学校三田校 理学療法士科 副学科長

渡辺 浩一 神戸医療福祉専門学校三田校 作業療法士科 学科代表

今岡 康人 神戸医療福祉専門学校三田校 言語聴覚士科 学科長

榎木 千代美 神戸医療福祉専門学校三田校 救急救命士科 学科長

佐々木 伸 神戸医療福祉専門学校三田校 義肢装具士科4年制 学科長

山藤 智基 神戸医療福祉専門学校三田校 義肢装具士科 学科代表

辻野 道子 神戸医療福祉専門学校三田校 整形靴科 学科長

4、会議の概要

(1) 校長挨拶

(2) 令和2年度自己点検評価結果報告2020年度重点目標の説明

(3) 質疑応答および審議

5、2020年度自己点検・自己評価結果報告

2020年度本校が実施した自己点検・自己評価の内容を下記10項目について説明した後、各委員から質疑応答、そして評価をして頂いた。

1. 教育理念・目的・育人人材増
2. 学校運営
3. 教育活動
4. 学修成果
5. 学生支援
6. 教育環境

7. 学生募集と受け入れ
8. 財務
9. 法令遵守
10. 社会貢献・地域貢献

※自己評価・学校関係者評価の結果参照

澤村校長挨拶

本日はお忙しい中、ご参加くださり誠にありがとうございます。

コロナ禍の中、私どもの学校の特徴でもあります地域に寄り添った教育ができずに苦慮いたしておりましたが、何とか対面教育が徐々にできるようになり喜んでおります。これからも市町村の地域包括センターがもっと機能していけるように医療福祉関係職の多職種連携教育をしていかなければならないと思っております。

また、連携教育にも力を入れております。その成果が還元できるようにしたいと思います。

本日は委員の皆様から忌憚のないご意見を伺いたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

【質疑応答】

中村委員) コロナの影響で海外研修に行けなかったことは残念ですが、代替研修をしっかりと行われたと思えます。ちなみに海外研修の参加率はどの程度ですか？

今在家) カリキュラムの一環となっている学科は、全員参加です。

有村委員) コロナ禍の中で実習先病院・企業からの実習中止のことを聞きましたが学内実習に切り替えられ、よく頑張っておられることに感心しました。コロナ禍の実習だからこそそのプラス面も今後の指導に活かして欲しいと思えます。

今在家) ありがとうございます。確かに学外実習を体験できなかったことは、現場の雰囲気・患者さんとのかわり等が経験出来なかったことは残念に思いますが、学内実習で基本技術を学ぶ時間数を確保することが出来たと思えます。

川崎委員) コロナ禍の中においてもしっかりと授業が行われていることに感心しました。報告の中で、奨学金の申請に時間がかかる学生が増えてきていると聞きましたが、学生指導も一人ひとりの反応を見ながら、行っていく必要があると思えます。

今在家) 従来どおりの指導で十分だといった思い込みがあった可能性があると思えますので、医療系の専門学校として学生にもインフォームドコンセント(説明と同意)の考え方の指導を心掛けていきたいと思えます。

田中委員) 一生懸命コロナ禍の不自由な状況の中、前向きにしっかりと学生指導を行っておられます。また経済面に苦しむ学生への支援制度が拡がればいいと思えます。

言語聴覚士科の学生さんが私の施設にも見学実習に来られますが、礼儀正しく、挨拶がしっかり出来ていると感心しております。見学実習で体験したこと、今後の問題点等のフィードバック行うことが望ましいと思えますがいかがでしょうか。

今在家) 実習に行ってきた。よかったというような、行かされた、行ってきた、といった体験談(インプット)だけでなく、しっかりと振り返り、アウトプットできるような、PDCサイクルを意識した指導をしてまいります。

正木委員) 学生指導については、今までのように言ったつもり、教えたつもりでは学生の理解度に差が生まれると思えますので、指導方法を丁寧にしていかなければ DO を減らすことが困難なのではと思えます。

今在家) オンライン授業・インターネットでの情報が多くなるにつれ、アクティブラーニング的な要素が少なくなってきたように思われます。先ほども申しましたように、アウトプットがしっかり出来る授業体系を構築してまいります。

川端委員) 国家試験の合格率が下がっていることが心配です。学生を見ていると、何が何でもその専門職になりたいという思いが薄くなっているような気がするのですが。

今在家) インターネットでの情報が溢れるようになってくる現在、なりたい職業についてのネガティブ情報などから、この職業を目指していいのかという不安や迷いが多くなってきております。キャリア教育を強化し、教員が職業意識をしっかり伝え、その職業の必要性や医療人としての誇りを持てるような指導をしていたいと思います。

今在家) 様々なご意見ありがとうございました。

コロナの勢いがまだまだ続き、社会環境・教育が制限を受ける中、教育の流れを止めることなく、一歩一歩着実に進んでいく所存です。今後ともご指導の程お願いいたします。

次回開催 2022年2月予定